

# 標準制吐療法

高度					
day					
1					
2					
3					
4					
5					
抗がん剤投与前					
アプレピタント (mg)	125	80	80		
5-HT <sub>3</sub> 受容体拮抗剤 パロノセトン	○				
デキサメタゾン (mg) デカドロン注射液 / デカドロン錠	9.9	8	8	8	8
	急性	遅発性			






★★上記の制吐療法でコントロール不良な場合はオランザピンの併用を検討

高度に準じる (CBDCA : AUC $\geq$ 4)					
day					
1					
2					
3					
4					
5					
抗がん剤投与前					
アプレピタント (mg)	125	80	80		
5-HT <sub>3</sub> 受容体拮抗剤 パロノセトン	○				
デキサメタゾン (mg) デカドロン注射液 / デカドロン錠	9.9	8	8	8	8
	急性	遅発性			


★★上記の制吐療法でコントロール不良な場合はオランザピンの併用を検討

中等度 (オプション)					
day					
1					
2					
3					
4					
5					
抗がん剤投与前					
アプレピタント (mg)	125	80	80		
5-HT <sub>3</sub> 受容体拮抗剤 グラニセトン	○				
デキサメタゾン (mg) デカドロン注射液 / デカドロン錠	3.3	4	4	4	
	急性	遅発性			

★★上記の制吐療法でコントロール不良な場合はオランザピンの併用を検討

中等度					
day					
1	2	3	4	5	
抗がん剤投与前					
<b>5-HT<sub>3</sub>受容体拮抗剤</b> パロセトン  <b>デキサメタゾン (mg)</b> デカドロン注射液 / デカドロン錠	  				
		★day2以降はsteroid sparing可 (sparingの場合はday1のDEXを9.9mgに)			
急性		遅発性			

★★上記の制吐療法でコントロール不良な場合はオランザピンの併用を検討

軽度					
day					
1	2	3	4	5	
抗がん剤投与前					
<b>デキサメタゾン (mg)</b> デカドロン注射液 / デカドロン錠					
急性		遅発性			

最小度					
day					
1	2	3	4	5	
抗がん剤投与前					
予防的な制吐剤の投与は推奨されない					
急性		遅発性			

高度 / 高度に準じる / 中等度 (オプション) / 中等度 のコントロール不良例	
<b>オランザピン</b> シプレキサ錠	1日1回 5mg (最大10mg) を最大6日間  【使用上の注意】 原則として抗悪性腫瘍剤の投与前に 【禁忌】 糖尿病 など 【慎重投与】 高血糖 / 肥満 / 尿閉 / 閉塞隅角緑内障 / 高齢者 など